

代表質問通告書

平成27年3月定例会

1番 会派 日本共産党 山田伸幸 議員

1 施政方針について問う。

- (1) 合併10年を節目として、第1次総合計画の仕上げの段階にあると述べているが、自らの市政について、どう評価するのか。
- (2) 「地方経済において回復の実感に乏しく」と言っているが、国の財政政策に対する評価が変わったのか。
- (3) 「3つの視点」を持ち出したが、「市民が主権者」を決して忘れずと言っていた市長の施政方針から大きく違ってきているのではないか。
- (4) 産業力強化といい「商業振興条例」「地域通貨」を掲げたのはいいが、これらの施策によって産業力強化が図られるのか。
- (5) 山口東京理科大学の公立化について、なぜ山陽小野田市に大学が必要なのか。人口64,000人規模の町で将来にわたって大学を維持できると考えているのか。

2番 会派 改進黨 河崎平男 議員

1 住み良いまちづくりについて問う。

- (1) 災害に強いまちづくりは、庁舎などの公共施設の耐震対策（診断や改修）を早急にしなければいけないと考えるが、今後の計画はどのようになっているか。
- (2) 厚狭駅周辺整備のコンパクトなまちづくりについて、まちの北部と南部の連絡道を含めたまちづくりはどのように考えているのか。
- (3) 少子高齢化対策について、子ども子育て支援の医療費の拡充は今後は考えているのか。
- (4) 産官学民が連携した子育て施策はどう考えているのか。

2 魅力的なまちづくりについて問う。

- (1) 第一次産業を取り巻く環境は厳しい状況の中で、農林水産課における振興ビジョンが地域活性化対策に欠かせない。そのためにも振興ビジョンが急務ではないか。
- (2) 観光振興ビジョンは多くの施策展開がなされているが、市外、県外におられる方の意見を聞くべきではないか。

- (3) 観光振興のためにセールスが必要ではないか。
- (4) 観光振興推進のためのプロジェクト会議の予定はいつごろか。
- (5) 東京五輪へ向けて国は未来のスポーツの選手、育成発掘に力を入れているが、本市のスポーツ振興推進計画はどのようになっているか。
- (6) スポーツが不得意な小学生、中学生の児童生徒にはどのように振興推進を図るのか。

3 地域力再生によるまちづくりについて問う。

- (1) 意欲ある人づくりは生涯学習の推進がきわめて重要と考えるが、公民館の事業のあり方についての考えを問う。
- (2) 世界スカウトジャンボリーが本市で開催されるが、本市に800人が来られる中、外国人も多数来られる。どのようなおもてなしをするのか。

4 その他関連施策について問う。

- (1) しごと、人、まちの創生についての一体的な取組については、先行して山口東京理科大学の公立化に向けて進めておられるが、地方創生のための総合戦略策定と人口定住ビジョンの策定はいつごろまで考えているのか。
- (2) 今後の策定に当たり、注意点や市民のかかわりはどのように考えているのか。
- (3) 市の職員の意識改革の取組について、合併後の意識改革をどのように評価しているのか。
- (4) 合併10周年を経過する中、職員の一体感を醸成するためにも市章（バッジ）の着用を考えてはどうか。

3番 会派 誠風 石田清廉 議員

1 予算の創意と工夫、事業の「選択と集中」について問う。

- (1) 前年度は行政を「新たな挑戦」の年として位置づけて予算・事業が編成された。前年度の事業評価に基づき、27年度を将来にわたる本市のまちづくり基盤整備を進めるとある。新たな政策の指針はどのようなものか。
- (2) 予算編成に当たっては、歳入の確保と歳出の節減に努め、創意工夫による効率的、効果的な行財政運営体制の確立が急務であり、事業の見直しを図り、不断の行財政改革にも取り組むとあるが、その具体的対応について問う。

2 平成27年度の主な施策「住みよいまちづくり」「魅力的なまちづくり」「地域力再生によるまちづくり」3つの視点について問う。

- (1) 国の施策である定住自立圏施策や地方創生政策など、本市の少子・高齢化に伴う人口減少問題、社会福祉問題など、喫緊の課題に対応できる施策として、大きな相乗効果が期待されるが、具体的な取組は検討しているのか。
- (2) 自主的・主体的な取組となる地方創生のための総合戦略を策定するとあるが、どのような構想か。
- (3) 新市誕生10周年に当たり、将来に向かって市民の一体感の醸成に努め、市民と協働のまちづくり、躍動感あふれるまちづくりに繋がる記念すべき事業が計画されたが、市民の意思は十分反映されているのか。この感動を次世代に向けて、伝え残すべき企画はされているのか。

4番 会派 市民クラブ 長谷川 知 司 議員

1 山陽小野田市の目指す都市像は

- (1) 山陽小野田市の目指す都市像は、他市と異なるところが見えない。他市と比べて、特化した施策があればこれを聞く。
- (2) 昨年度の施政方針からの継続は、どのようにするのかを聞く。

2 施策推進の指示・指導・調整はどのようにしているのか。

- (1) 「市長自らが先頭に立ち、職員一丸となって」とあるが、課を超えたり、部を横断する事業が多くあり、そのイニシアティブは、どのように進めていくのかを聞く。
- (2) 事業内容のチェックや指示のPDCAサイクル方法及び事業進捗のスピード化をどのように行うのかを聞く。

3 人口減少に対する施策の展望と具体策を聞く。

- (1) 人口減少に対して、もはや待ったなしの状況であるし、この長期展望には腰を据えて取り組む必要がある。その対策を聞く。
- (2) 「地域創生」を生かす「地域力」、「住民協働」をどのように考え、高めるのかを聞く。
- (3) 「人口定住」のために、外から本市に行ってみたい、住みたいと思える施策を子ども達、若者、家族、高齢者等、各々の対象について実施時期を含め聞く。

5番 会派 進化 伊 藤 實 議員

1 「魅力的なまちづくり」について

- (1) 山口東京理科大学の公立大学法人への移管及び薬学部の新設について地方創生の一環である公立大学法人化及び薬学部設置は、雇用創出、定住促進、地域活性化などの起爆剤として大きな可能性を秘めたプロジ

エクトである。それ自体が目的であってはならず、まちづくりの手段と捉えなくてはならない。本市は、推進に向けての体制をどのように整備し、まちづくりに生かしていくのか。

(2) スポーツによるまちづくりについて

平成27年度からJリーグに昇格するプロサッカーチーム「レノファ山口」はスポーツによるまちづくりの大きなツールとなる。行政主導でなく商工会議所、関係団体や市民総出で盛り上げていかななくてはならない。本市は、今後「レノファ山口」をまちづくりにどのように活用していくのか。また、ゴルフを初めとする他のスポーツにどのように波及していくのか。